



白金の丘

白金の丘小学校・白金の丘中学校

令和3年5月6日

第2号

教育目標

- 相手を思いやり 礼節ある人
- 自ら学び 自ら考え 自ら行動する人
- よく運動し 強い心と健康なからだをつくる人

Tel: 小学校 3441-5363 中学校 3441-5361 Fax: 小学校 3441-0762 中学校 3441-0761
Email:sirokanenooka-ej@minato-ky.ed.jp HP:http://sirokanenooka-ej.minato-ky.ed.jp

「世界で活躍する力を育て、社会的に自立する人間づくり」に向けて

校長 小林 傑

暦の上では立夏が過ぎ、初夏の太陽の日差しに新緑が映える季節となりました。

保護者の皆様におかれましては、4月26日にお知らせした緊急事態宣言下の本学園の教育活動に対しまして、ご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

さて、先月の学園だよりにてお知らせしました「令和3年度 白金の丘学園が目指す学校教育」を次項に掲載いたしました。本学園が目指す学校教育は、教職員が十分に理解し、実現させることは当然のことですが、保護者の皆様と共通理解し、連携することが一人一人の児童・生徒の成長にとって効果が増すと考えています。今年度、学校公開等が制約される中、私としても保護者の皆様に教育の理念や意図を積極的に発信してまいりますので、よろしくお願いいたします。

第一弾として、目指す学校教育の中に掲げている「世界で活躍する力を育て、社会的に自立する人間づくり」について、その理念をお伝えします。児童・生徒が社会人になる数年後～数十年後は、現在よりも世の中の変化が激しいといわれており、社会情勢に応じて新たな取組みを創造するほか、直面する様々な課題を乗り越えていくなどの資質・能力が必要だと言われています。そのため、学校教育でこれまで行われていた知識や技能の習得だけでは、子供たちはこれからの社会で活躍することは難しいと考えます。こうしたことから現在行っている学習では、知識の習得の確認（正解を答えること）を重要視するのではなく、答えが一つでない課題を提示し、児童・生徒一人一人が主体的に考え、なぜその考えに至ったのかを他者に説明する機会を設けています。あわせて大事なことは、課題をクリアしようとする気持ちです。これは、授業の学習だけでなく、学校行事や生徒会・委員会活動、部活動など主体的な活動場面で養われます。自分が（自分たちが）立てた目標に向かって、自身が努力し仲間と一緒に成し遂げた成功体験は、今後の人生の糧となります。そして最後に、基盤となる社会性や人間性が大切だと思っています。「あいさつをする」「時間を守る」「礼儀を重んじる」など、社会性、人間性が身に付くと、どのような状況でも良好な人間関係を築くことができ、他者と協働して生きていくことができます（このことにつきましては、ぜひご家庭と連携して取り組んでいきたいと思っています）。

今回、お伝えした内容は一部ですが、すべての教育活動に理念と意図があります。白金の丘学園は、児童・生徒一人一人が主役の学園です。今年度も保護者・地域の皆様と共通理解を図りながら、子供たちが成長し、輝けるよう教育を展開していきます。引き続きご協力をお願いします。

特別支援教室の通級及び学習支援員の配置（2回目）の申込みについて

平成28年度から、発達について気になる児童を対象に、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために、本校において通級指導を行う特別支援教室（けやきルーム）を開室しております。また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別的な支援を行うために学習支援員を配置しているところです。

現在、これらの支援を受けておらず、今後、特別支援教室の通級あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は、**5月21日（金）までに**、担任、特別支援コーディネーター、または副校長にご相談ください。 ※なお、継続を希望される保護者の方につきましてもご連絡をお願いします。

【問い合わせ先】 副校長 渡部理恵子、内田理恵、西野和之 TEL 03-3441-5363・5361
特別支援コーディネーター 小学校：小林美紀 中学校：上野好喬、荒川紀美子